

広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:00
11月 1日 広げよう、命のボランティア
11月 8日 自然が育むわかやまジビエ
11月15日 わかやまごみゼロ活動
11月22日 人権について考えよう
11月29日 知事と語る

県民チャンネル

月・火・木・金・土曜 21:55
マンスリー県政 ニュースワイド
毎月最終金曜19:30

ラジオ 和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00
※土・日曜は再放送がありません。
ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40
放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

山青し 海青し 文化は輝く
紀の国わかやま文化祭2021
第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会
令和3年10月30日(土)~11月21日(日)

2つのプロジェクトの募集開始!

県民の皆さんと本文化祭と一緒に盛り上げるため、2つのプロジェクトの募集を開始します!

1つ目は“折り鶴プロジェクト”。折り鶴を折ってきいちゃんのモザイクアートを作成し、本文化祭にお越しになる方へのおもてなしとして、各会場に展示予定です!

2つ目は“出前体験プロジェクト”。県内の文化関係団体による「盛り上げ隊」が、県内の学校などに出向き、30を超える文化体験を実施します!

詳しくは、公式WEBサイトなどで発信していますので、興味をお持ちの方はぜひご参加ください!

問 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会事務局
☎073-441-2417 FAX073-423-7120
紀の国文化祭

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ

名を名乗れ



「やあやあ、遠からん者は音にも聞け、近くば寄って目にも見よ!我こそは〇〇の住人、△△なり。腕に覚えの者よ、手合わせを願う、いざ尋常に勝負、勝負!」

昔(今も)好きだったちゃんばら物によく出てきた武士のセリフです。昔は、人と闘う時は堂々と名を名乗り、正々堂々とわたり合うのが美風とされ、自らを名乗りもせず、闇夜にまぎれて相手を後ろから切りつけるなどはひきょう者として、最低の道徳的評価を受けたのです。

それが今日、どうも自らの正体を秘して、相手を攻撃することが横行しているように思います。特にネットの世界では、ハンドルネームが自由自在ですから、この傾向が強いように思います。

自分以外の人の事情を認め、相手の気持ちも考え、社会通念上許されぬ手段で相手を攻撃することは自制するというのが人の道であり、それが人間の尊厳につながると思うのですが、ネットで自分の名が隠れてしまったとたんに、この抑制が効かなくなってしまいうように感じます。だいたい、隠れた所から他人を攻撃するのはひきょうです。

コロナに感染した人やコロナと戦ってくれている医療関係者への中傷や非難も、自分はネットの向こうに隠れながら、よくそんなことが言えるなという事を平気で言う人がいます。もっといけないのは、さらに自分の名を隠した人が、その真偽も確かめず、そうだそうだと同調して投稿することです。かくしてコロナいじめが発生するのです。

私はネット社会は時代の流れだと思いますが、この匿名の無責任発信が許される世の中は何とかならないといけないと思います。

名を名乗ることによって、いいかげんなことは言えないとか、自分もまた反撃されるかもしれないなといった緊張感が高まるし、正々堂々ふるまう礼儀も、さらにそこから他を思いやる心も育つでしょう。名を名乗れ。

和歌山県知事 仁坂 吉伸



手話表現紹介動画はこちらから



総合評価値 80

・古紙パルプ配合率
※残りは、その他の持続可能性をめざしたパルプを使用
・塗工量

70%以上
30g/ml以下

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙でリサイクルできます。